

## 第1回 幹事会 議事録

日 時	2017年4月24日（月）15時00分～17時15分
場 所	伏見ライフプラザ13階 エコパルワークショップルーム
出席者	(実行委員・チーム員) 涌井、長谷川、新海、尹、松本、大鹿、杉野、楠美、西野、岩崎、千頭、平石、内藤、萩原 (オブザーバー) EPOC 佐藤 (事務局) 蒲、丹羽、天野、金井、西尾、石井、西、押越
<b>決定事項</b>	
<p><b>○新幹事及び新チーム代表 推薦により候補を選出し、投票により確定</b></p> <p>代表幹事 (大鹿実行委員)</p> <p>チーム代表 企画 (山田チーム員)、活動サポート (杉野実行委員)、広報 (西野実行委員)、ユース (平石チーム員)</p>	
<b>検討事項</b>	
<p><b>○規約について</b> 実行チーム定義の記述等</p> <p><b>○予算執行状況報告について</b> 4期に分けて都度幹事会等で報告し、調整する</p> <p><b>○諮問機関について</b> 2017年度は涌井学長を中心に諮問機関的な形を検討。将来的には第三者評価委員会設置を目標。</p> <p><b>○任期10年となる委員の関わり方について</b></p> <p><b>○事務局体制について</b> 事務局次長設置、プロパー職員の育成について等今年度中に具体的に検討する。</p>	
<b>議 事</b>	
<p><b>●涌井学長</b></p> <p>市民が主体になって大学という一つの形をつくるのは現実には非常に大変である。とくに創業に関わられた方々はどれだけの知恵と労力を割いていただいたか想像に余りある。千頭委員をはじめ、この形をつくりあげた実行委員の方々とは名古屋市には改めて敬意を表する。</p> <p>名古屋も大きく変わろうとしている。第4次産業革命の時代、国際的にみるとアメリカ等の先進国では比較的環境財に恵まれて豊かな自然に近い場所に知的産業集積基地を置いている。これからは軽くて付加価値が高いものが産業の中心となる。旧来の考え方では時代の流れについていけない。名古屋がどういう産業像を考えていくのかが重要となる。</p> <p>国際的なブランドで言えば名古屋は環境先進地域である。リニア新幹線が来ることをポジティブに捉え、都市のありようをしっかりと考えていく必要がある。そこで私に何ができるのか。例えば、久屋大通を減車線する新たな名古屋の都市像を提案している。</p> <p>なごや環境大学も体系としてどう環境問題を考えていくのかが重要である。立ち上げから尽力いただいた方と、これからの新しい体制で方向を考えて行く中で、両者を分断せず、同じ文脈として未来を考えていくことが大切である。私も少しでもお手伝いできればと思っている。</p>	

## ●常任幹事 千頭委員

本日をもって実行委員を退任させていただきたい。今回第4期ビジョンも新しい方向性が出て、次を担っていく人が自分たちのビジョンとして出していった方がよいと考える。

開学初期の頃は、なごやを何とかしたいという共通の思いの元、皆が集まり、名古屋市との間にもよい刺激があり、関係性も良好であった。思い切った試みも多く行い、事務所に来て事務局の方々と話しをするのもすごく楽しかった。長い間ありがとうございました。

●以後、議事進行は、事務局長が担当する。

## 1. 議 題

### (1) 2016 年度 事業報告及び決算について

#### 各チーム事業報告 (P1~7)

- ・「講座」「動かそう」「広報」「ハンドブック」「リソースマッチング」各リーダーから報告
- 【質疑】なし

#### 2016 年度決算 (案) (P8)

- ・3月末までの予算執行状況を説明。総会には未払い分反映済の決算を提出する。
- ※3月末では300万円残(未払金含)。4月度決算では140万円残を見込んでいる。

#### 【質疑】

- 涌井 残額が大きいですが、次年度の予算処置は大丈夫なのか。
  - 今年度と変わらない予算がついている。2017年度は計画的に執行したい。
- 新海 各チーム予算ギリギリでやってきた。幹事会で見込みの報告があったのか。
- 涌井 半期でなく4期くらいに分けて都度報告し、調整した方がよい。

### (2) 「なごや環境大学」第4期ビジョンについて

#### 「なごや環境大学」第4期ビジョン (案) (P 9)

#### 第4期ビジョンの特徴 (P10)

#### 第4期ビジョンの重点目標とアクションプラン (P11)

#### 2017 年度 新実行チームの活動目標 (P12)

- ・第3期ビジョンをベースに今後10年先まで見込んだ内容である。実施体制を見直す。
- ・とくに実行チームがどの重点目標とアクションプランを担っていくのか意識して作成。
- ・市民向け表現のビジョンについては検討中である。

#### 【意見】

- 楠美 表現として「ESD」を入れることに異論はないが「ESD」とは何かと聞かれたとき答えられる人が不在では問題。ビジョンに掲げる以上は、持続可能な発展とは何か。少なくとも関係者が理解し深めていただきたい。

### (3) 「なごや環境大学」実行委員会規約の改正について

#### 「なごや環境大学」実行委員会規約の改正点 (案) (P13~17)

「なごや環境大学」実行委員会 幹事会運営規程（案）（P18）

「なごや環境大学」実行委員 実行体制（案）（P19）

2018年度までに実施・決定する事項（P20）

- ・幹事会の運営について 幹事会のメンバーを絞った（代表幹事とチーム代表のみ）
- ・幹事会とチームはそれぞれの考えて動くべきことから「指示」の表現を除いた
- ・幹事会運営規程（案）を作成した
- ・特別会計について 名古屋市の負担金とは別に寄付を受けた場合は継続的に使えるよう条項設けた。使い方については今後検討。
- ・幹事会の運用に関して今後新しい体制の中で検討していく。
- ・2018年度の総会では、委員の任期が切れるため、新しい委員等を選出する。

【質疑】

- 楠美 自身は任期10年で退任となるが、千頭委員等が抜けると環境をずっと専門に扱っている委員が不在になる。来年度以降のメンバーには専門家を加えていただきたい。人選にあたっては社会科学分野(政策等)の環境専門の方をお願いした方がよい。
- 涌井 市民が理解していく啓発的な運動と、一方でフィジカルでリアリズムの世界がある。環境学の体系を理解している人材が実行委員にいるのは、市民活動をやっていくうえでも重要である。今のご発言は非常に重要。十分留意していただきたい。
- 新海 今回なぜ第4期ビジョンをつくりあげたのか。こだわった特徴を大事にしてほしい。より市民が参加しやすいしくみにするために、ビジョンを改訂した。評価指標の検討等あえて難しい言葉も使用している。幹事会をより動きやすいしくみにするため組織を小さくした意図を伝えて欲しい。
- また2017年度の見直し期間について 任期10年以上となる委員はどのような関わり方をしたらよいのか。どのように関わって欲しいのか。委員の中に中間支援組織がほとんどないことも気になっている。
- 蒲 2017年度は、大切な期間である。任期を残す後1年ぜひ参加いただきたい。
- 涌井 実行委員の皆様方が決めた方向をより応援するのが学長である。議論として疑問がいくつかある。

【規約について】

実行委員会は定義があるが、実行チームについての定義がない。

代表幹事が学長と対立した場合、全体会は代表幹事、学長にも招集権があつて二権並立になる。学長に招集権は不要である。

→ 全体会議の第2項から「学長」を削除

【第三者機関について】

幹事会とは違う立場で評価を受ける「第三者評価委員会」を将来的に設置したらどうか。実行委員を経験された方々に意見を求める場があるとサステイナブルでありプラスになる。どこに付帯させるかは考えて欲しい。まずは今年度限りでもよいので試行してみたい。第三者レポートみたいに出してもよい。皆さんで図って欲しい。

- 長谷川 評価、外部資金、ブランディングなど、今までも書きながら実行できなかった。予

算も人もついていないことが原因。この3点は第3三に意見を聞く要素も強い。先ほどの涌井学長のご意見に賛同する。

- 蒲 第三者評価委員会は規約上でなく、「諮問機関」として設けることを検討したい。
- 千頭 名古屋市の意思がみえないのが問題。会議上での議論を通じて意見をくれたらよいのに、担当主幹を通じて意見を通そうとするのが問題である。名古屋市が（なごや環境大学を）どう評価するのか見えてこない。
- 涌井 将来的な「第三者評価機関」の話は以後きちんと議論していただきたい。
- 長谷川 プロパーさんのことが抜けていることが気になっている。環境コーディネーターという位置付けでプロパーをバックアップしていこうという話までは進んだが、プロパー職員また事務局の強化・体制づくりについて、具体的な記述がない。
- 新海 前回の幹事会時に、プロパーから「民間のプロパーを事務局次長にしてください」という発言があった。そもそも民間の人たちとハーフハーフでやるという議論があったはずである。
- 萩原 なごや環境大学は、今まで専門家や行政だけでやってきたことを、地域の構成員が膝を突き合わせて関わる場であった。誤解を受けるなら行政の職員の関わり方をもう少し明確にした方がよい。事務局の役割はまだこなれていない。事務局次長の話も含み事務局は単なる裏方ではない。規約で表現するのは難しいが、規約で縛らない信頼関係を築かないといけないと考える。
- 蒲 新たな体制を考えていく中で具体的に検討していきたい。

#### (4)「なごや環境大学」代表幹事、チーム代表の決定について

2017年度 代表幹事、実行チーム代表「候補者リスト」(P21)

代表幹事、実行チーム代表選出のながれ (P22)

##### ●代表幹事の選出

投票 23 (うち事前投票 6)、委任 1

開票 立会人 EPOC 岩崎委員

○代表幹事 大鹿委員 19票 尹委員 4票

##### ●実行チーム代表の選出

浦野愛チーム員が意向期限後に辞退の意向を示されている

投票 24(事前投票 6)

○企画 大鹿委員 1、杉野委員 1、山田チーム員 14、尹委員 5、委任 3

○活動サポート 大鹿委員 2、杉野委員 18、西野委員 1、委任 3

○広報 杉野委員 2、西野委員 20、委任 2

○ユース 西野委員 1、平石チーム員 19、委任 4

##### 【意見】

- 松本 実行委員がいるにも関わらずチーム員が頭（実行チーム代表）を取るのをおかしいのでは。また任期が長い委員がリーダーに立つのは新しい流れと相反するのでは。

- 内藤 チーム員からチーム代表になる方は、今期より実行委員になるので問題ないのでは。  
また任期の長い委員は年度限定と捉えれば問題ないのではないか。
- 楠美 疑義があるのであれば、本日より前のタイミングで発言すべきである。
- 新海 2017年度は暫定期間でメンバーも少なく、願うするのはよいと考える。ただし、同時に2017年度は次年度を見据え新しいメンバーを入れる作業をすべきである。  
また総会では2017年度がなんのための暫定か意図を説明して欲しい。
- 西野 各委員の継続年数についても表記して欲しい。

(5) 2017年度 事業計画(案)及び予算(案)について

各チーム事業計画(案)(P23~27)

2016年度からの引き継ぎ課題と検討事項(P28)

2017年度予算(案)(P29)

について、たたき台のため現チームの課題をどのチームに入るべきか検討してほしい。

(6) その他

名古屋外国語大学との地域協定について

→ よい流れなので進めるとよい

千頭常任幹事が退任希望を出される

●今後のスケジュール

4月下旬 実行委員・チーム員に所属希望チームの意向を確認

5月上旬 新代表幹事およびチームリーダーによる「臨時代表者会」を開催

チーム編成および事業計画を検討する

5月22日(月) 15:00~17:00「総会」

名古屋市役所 本庁舎 5階 正庁